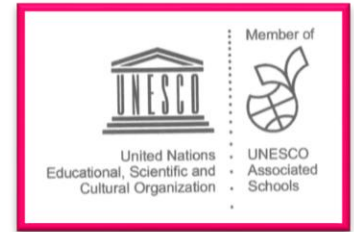


高山村立

高山小学校だより No. 3

〒382-0831 上高井郡高山村大字高井 3455



重点目標「かがやき つながる 高山のわ」

Chance Challenge Change



～校長先生のお話より～

5月15日に校長講話が行われました。

「ノミのお話」がありました。ノミは体の長さが2～4mmの小さな虫ですが、ジャンプ力は人間の身長くらいまで跳ぶことができます。「ノミとコップ」の実験をしたところ、最初はコップの外まで跳んでいたノミもコップに透明の蓋をすると跳べなくなってしまいました。自分の限界を決めてしまったからです。ノミをジャンプさせるには

どうしたらいいか?について子どもたちに問われました。跳べるノミの中に入れることで、自分も高く跳べる気持ちになり頑張れます。この実験から、自分の限界を考え、最初から「無理」「できない」と心に蓋をあきらめてしまうとできなくなってしまいます。自分の中に壁を作らないことでチャレンジをすることができます。重点目標「かがやき」は一人一人の気持ちに壁を作らないで、挑戦すること、「つながる」は、人はまわりの人で変わるので、まわりの人の良さを学ぶことを大切に取組んでいきましょう。

わくわく村が始まりました

5月28日に開村式を終え、今年もわくわく村が始まりました。今年の講座の数は20に上り、たくさんの親子が参加申し込みをしています。わくわく村の活動は、学校・PTA・地域・公民館が垣根を超えて連携し、わくわく村運営委員会が中心になって運営しています。北信地域でも高く評価されており、高山小学校自慢の親子ふれあい体験講座です。村の自然や文化・風土に触れて村の良さを味わったり再発見したりして、村をもっと好きになる活動といえます。子ども達だけでなく保護者も地域も一緒に成長する活動になっていくと思います。高山小学校がユネスコスクールとして認定されている理由でもあります。「わくわく村だより」をよく読み準備等よろしくお願いたします。



わくわく村村長 勝山一誠さん



5年生が田植えをしました

今年も5年生の稲作りが始まりました。本校の稲作学習を支援してくださるのは、今年も山口政司さんです。城山下の田んぼで、5年生が総出で裸足になって泥を踏んで代かきをし、5月22日には田植えを行いました。初めて田植えをする児童もいましたが、山口さんの指導でだんだん上手に植えられるようになりました。自分の体で体験しないと分からないことがいっぱいです。稲刈り、はぜかけ、脱穀の後、収穫の秋が楽しみです。

児童総会 行われる

5月10日に今年初めての児童総会が行われました。今年のスローガンは「笑顔かがやく高山小～一人一人が安心して生活し、団結できる学校～」です。

各委員会の活動計画案及びスローガン案の発表及び質疑応答、承認が行われました。たくさんの意見が出され、活発な話し合いが行われました。6年生は、高山小学校を良くしていくために、児童会活動をリードし、意欲的にがんばっています。



演劇鑑賞教室「劇団かかし座」

5月23日に演劇鑑賞教室が体育館で行われ、全校が鑑賞しました。今年は、劇団かかし座による「シェットの冒険～ドラゴンの山へ～」が行われ、色鮮やかで美しい背景に影絵による劇を子どもたちは楽しく観ていました。途中、影絵を実際に体験するワークショップに代表の児童や先生が楽しく体験することができました。本物の演劇を観ることは、子どもたちにとって、とてもいい経験になりました。

エアコン設置 試運転はじまる



5月中旬、2ヶ月に及ぶ工事が終わり、高山小学校の教室や特別教室にエアコンが設置されました。先週末、30℃を越す暑さが続く中で、27日にエアコンの試運転を行いました。涼しく気持ちのいい風を体を感じ、教室内もとても過ごしやすく、子どもたちもとても喜んでいました。これから夏に向かいますが、このような環境で学習や活動などの学校生活ができることは大変有難いです。